

【令和元年度 定例分】

市民と市長と気楽にトークでの意見交換についてご紹介します。

市民の方から	市長から
私の地域には一人暮らしの高齢者が数人います。災害が起きたとき、この人たちをどう避難させるかが課題となっています。	市ではご本人に了解を得た上で、支援が必要な方の名簿を該当する自治会にお伝えし、緊急時にそれぞれについてどう避難してもらうかの計画の作成をお願いしています。そのためにも、各自治会において自主防災組織を結成され、自治会みんなが避難行動について話し合うことが大切であると考えています。
柳井駅の南に改札口ができないでしょうか。	柳井駅南口の設置は以前から要望がありますが、費用対効果の観点から現時点では困難な状況です。そうした中、まずは老朽化した地下道の大々的な補修等を予定しています。
鹿児島の大雨では避難所がいっぱいで避難者は次から次へ移動を余儀なくされました。市で予めどこに行けばいいのか決めておいていただければと思います。	市では災害種別ごとに避難場所を指定しています。それぞれの災害種別に応じた適切な避難場所に安全かつ迅速に避難するためにも、自主防災組織や家族内での話し合いを通じて、その地区の状況に応じた避難場所や避難方法を事前に確認しておくことが大切です。
企業誘致や雇用促進の取組状況はいかがでしょう。	神西小学校跡地に東京のシステム開発企業のサテライトオフィスが開設され、南浜工業団地にも大阪の自動車用内外装品製造業の企業進出が決まりました。また、地元企業の事業の拡大により、ここ数年雇用人数も増えています。
なぜ柳井商業高校は柳井工業高校の校舎での統合となったのでしょうか。	柳井商業高校の校舎と体育館に耐震性がなく、耐震補強も困難だったことによります。現在の柳井商工高校は近年志願者も増え、部活動での活躍もめざましく、それぞれの歴史も引き継がれていると感じています。
JR 柳井港駅は上りも下りも階段を利用しなければならず、待合の椅子も壁に向いています。改修できないでしょうか。	JR 柳井駅は利用人数が3千人以上あり、JR、国、市の1/3ずつの負担によるバリアフリー化工事を実施しています。一方、柳井港駅や大島駅の改修工事は全額市の負担となるため、現時点では困難な状況です。なお、待合の椅子の向きはJRによる事故防止措置によるものです。
柳井商業高校跡地の利活用について現状を教えてください。	6月議会において複合図書館建設に向けた動きを一旦立ち止まるようにとの請願が採択されました。今後どのように進めていくか、市議会と協議しながら取り組んでいきたいと考えています。

市民の方から	市長から
<p>航路船へぐりの更新についてどのように考えられていますか。</p>	<p>フェリーへぐりが平郡島の人々の生活に欠かせない大切な航路船であることは認識しています。そうした中、現状、大きな改修を必要とする状況にはありませんので、定期検査等の状況を考慮し、可能な限り使用していきたいと考えています。</p>
<p>高齢者が運転免許を返納した場合に一番困ることは通院だと思います。高齢者の移動手段についてどのように考えていますか。</p>	<p>平成 25 年から日積地区では予約制乗り合いタクシーを導入し、通院や買い物の交通手段として利用されています。今年度は、市全体の地域公共交通網形成計画を策定することとしておりますので、通院等の高齢者の移動手段をどうするか、いろんな知恵を出し合っていきたいと考えています。</p>